南部地域振興課学習情報紙　みなみ風　第２０号

２０２５年（令和７年）９月

発行　南部地域振興課

住所　福山市沼隈町大字草深１８８９番地６

電話　９８０－７７１３

FAX　９８７－２３８２

e-mailnanbu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp

済美校区人権問題講演会　福山空襲、広島原爆投下、長崎原爆投下から８０年・・・未来を創っていく若い世代が思うこと・・・

平和を受け継ぐ～つなぐ　つながる　福山・広島・世界へ～ふくやまピース・ラボ　ふくやまピース・ラボ１１期　梶原百恵さん　ふくやまピース・ラボ４期～７期・第２３代高校生平和大使・EXPRESS　HIROSHIMAプロジェクト代表　小川美波さん広島市立基町高等学校普通科創造表現コース１６期生、大迫美晴さん広島市立基町高等学校普通科創造表現コース１９期生

とき１０月４日土曜日１４時から　ところ瀬戸コニュニティセンター（福山市瀬戸町大字地頭分８０番地１）

入場料無料　手話通訳・要約筆記あります。主催　瀬戸地域民主化推進協議会　津之郷学区人権学習推進協議会　赤坂学区人権学習推進協議会　瀬戸交流館　津之郷交流館　赤坂交流館　瀬戸コミュニティセンター　南部地域振興課　問合せ　南部地域振興課　電話番号084-980-7713　FAX番号　084-987-2382

第４２回　城西校区人権学習講座　山手コミュニティセンター人権啓発講座

「日々の暮らしに人権意識を～人権は守られていますか？～」第一講座アニメ「ワンピース」で考える人権　講師松村元樹さん「公益財団法人　反差別・人権研究所みえ」常務理事兼事務局長

幅広い世代に支持を得るアニメ「ワンピース」。そこに描かれているさまざまな場面にみられる人権問題（人種差別、部落差別、性差別など）についてお話しいただきます。※受講無料。手話通訳あります。１０月３１日金曜日１９時から山手コミュニティセンター体育室　主催　城西校区人権学習講座実行委員会　問合せ先　南部地域振興課　TEL980-7713　FAX　987-2382

５年先・１０年先の沼隈地域における“まちづくり”の話合い“ぬまトーク”開催中

沼隈地域で活動されている人・団体、学校関係者、地域のまちづくり推進委員会から推薦された人、事業者、企業等を参加者として、沼隈地域の持続可能なまちづくりに向けて、お互いに意見交換やアイデア出しをする「話合いの場」を開催しています。

第1回7月4日（金）１８時３０分から２０時３０分ぬまくま市民交流センター大・中会議室

第2回8月4日（月）１８時３０分から２０時３０分ぬまくま市民交流センター大・中会議室

グラフィックレコーディング実施してます！

グラフィックレコーディングとは、会議などの内容をイラストや図形などのグラフィックを用いてまとめる記録方法です。重要な要素がイラスト化され、多くの人に内容がわかりやすく共有できます。

開催！内海町まちづくりミーティング

７月25日と8月28日の２日間、うつみ市民交流センターにおいて、内海町まちづくりミーティングを開催しました！まちづくりミーティングは、今まで各学区（町・地区）単位で行ってきましたが、今回は内海まちづくり推進委員会と田島東部まちづくり推進委員会が合同で行いました。内海町で普段からまちづくりに関わっている人、今まで関わっていなかった人、事業者など、さまざまな立場や年代の方に参加していただき、田島東部・田島西部・横島の地域を越えた、まさに「オール内海」で内海町について語りあう時間になりました。７月２５日第1回では、福山市立大学の澤田教授から、地形や地質から見た内海町について講演をいただきました。「田島と横島は同じ島だったのではないか」という話は、まさに「オール内海」につながるものでした。その後、グループで「内海町の魅力」や「内海町をこうしたい」という想いを話し合いました。８月２８日第2回では、「自分たちでできること」をテーマに自分たちが内海町をもっと住みやすい町にするためにどんなことができるかを話し合いました。いろんなアイデアが出され、海をはじめとする自然環境に関するアイデアが多く、内海町らしさを感じました。また「つながり」をテーマにしたアイデアも多くありました。第1回、第２回とも時間を忘れるくらい盛り上がり、新たな交流もたくさん生まれました。11月には、内海をぶらぶら歩きながら地域のことを知る「ブラうつみ」という企画も予定しています。

「親の力」をまなびあう学習プログラム（親プロ）を実施しました！！

５月２８日（水）ぬまくま子育て支援センターで、実施しました。

『ワイワイ、キャーキャー！！～「子供と遊び」について考える～』というテーマについて学習しました。普段どんな「遊び」をしている？外遊びデビューはいつだった？など、悩みを共有し、知恵を出し合い、学び合うことができました！

「親の力」をまなびあう学習プログラム（親プロ）とは、子育てに必要な知識や技術の習得ではなく、参加者が自分に必要な知識や技術について、自他の子育てを振り返り学びあう中で、「自ら気づき、学ぶことができる力」を高めていくことを目的としています。参加者みんなの力で、それぞれが自分にあった「こたえ」を見つけていくことができるプログラムです。詳細や申込は、福山市ホームページをご確認ください。

2025平和アピール展

８月１日（木）から８月１８日（月）に沼隈図書館及びうつみ市民交流センターで沼隈支所管内の保育所やこども園等に通っているこどもたちの平和への思いがこめられた作品を展示しました。

南部なるほどキャンバス

平和な社会をつくる福山空襲８０年～５万分の１の記憶～沼隈支所のロビーに7月25日～8月8日まで、当時小学１年生だった福山空襲体験者の話しを絵本風にまとめたものを展示しました。そこで支所に来られた方たちに書いていただいた、平和へのメッセージをご紹介します。「世かいを平和につくれるように。」「みんなでまもろう！みんなの命それぞれに」今後も平和な世界を築く営みを続けましょう。＊福山罹災者４７,３２６人（人口５８,７４５人）…総務省